

園長	主任	担任

<p>ねらい 友だちと一緒に身体を様々に動かして遊ぶ楽しさ、心地良さを味わう。 自分の思いを言葉や動きで表し伝えながら友だちと遊ぶことを楽しむ。 秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむ。</p>	<p>子どもの姿 ・運動会に向けて、友だちと一緒にかけっこをしたり、音楽をかけて踊ったりして体を動かして遊ぶことを繰り返し楽しんでいる。 ・自然物を集めたり、虫を捕まえて遊んだりすることを楽しんでいる。</p>	<p>行事 11・25日 英語であそぼう 13日 運動会 18日 身体測定 24日 秋の健康診断 26日 おはなし会 26日 避難訓練 31日 歯科健診</p>
<p>内容</p>	<p>環境構成</p>	<p>保育者の援助及び配慮</p>
<p>養護 ○生命・情緒 ・手洗い、うがいをを行い、健康に過ごせるようにする。 ・日々の観察を行い、水分や給食を必要に応じて取れるようにする。 ・友だちと遊ぶ中で、自分の正直な気持ちを伝え合い、相手の思いも受け止められるようになる。 ・自分の気持ちを、保育士や友だちに受け止めてもらい、安定した気持ちで過ごす。</p>	<p>・手洗い、うがいの仕方について、子どもと一緒にやり方を見直し取り組む。 ・休息の大切さを知り、心身共に休めるように促す。 ・子ども同士のやりとりの中で、お互いの素直な気持ちを伝え合うことの大切さを知らせる。 ・保育士とコミュニケーションをしっかりと取る。 ・日中の活動で運動量が増えるため、保育者と一緒にゆったりと楽しめる遊びを心がけて取り入れていく。</p>	<p>・子ども一人一人の健康状態を把握して無理をさせないようにする。 ・子ども任せにしないで、適宜声をかけるようにする。 ・一人一人の子どもが、しっかりと自分の思いを表出できるように言葉掛けをしていく。 ・子どもの気持ちの変化に気づき、その時の心情に合わせて言葉掛けをする。</p>
<p>教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現 ・手洗い、うがいをを行い、健康に過ごせるようにする。 ・日々の観察を行い、水分や給食を必要に応じて取れるようにする。 ・友だちと遊ぶ中で、自分の正直な気持ちを伝え合い、相手の思いも受け止められるようになる。 ・共用の物を大切にしようとし、使った物は片付ける。 ・秋の自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。 ・運動会への取り組みで、協力したり、互いの姿を認めたり励ましたり、友達との関わりを深める。 ・自分の気持ちを伝え、友達の気持ちにも気付く。 ・5歳児の遊びや活動に憧れの気持ちを持ち、真似たり、自分たちの遊びに取り入れたりする。 ・散歩に行く機会を増やす。 ・鬼ごっこやかけっこをして、かいっぱい走る楽しさを味わう。 ・ルールのある遊びに興味をもち、繰り返し遊ぶ。 ・気の合う友だちと同じ場で遊ぶことを楽しみ、自分の思いを動きや言葉で伝えようとする。 ・話を聞くときの姿勢を身に付ける。 ・絵本や紙芝居、素話に興味をもって聞く。 ・行事(運動会)に参加する。 ・季節の歌を楽しむ。 ・身体を動かして表現する楽しさを味わう。 ・秋風の心地よさを感じ、空の様子や雲の形の変化、おもしろさに気付く。</p>	<p>・暑さや肌寒さに対応できる衣服があるかを確認する。 ・運動中はいつでも水分補給できるようにし、休息もしっかり取る。 ・運動遊びを楽しめるような言葉をかけ、運動がしたくなるような環境を設定する。 ・運動遊びをした後は、ゆったり休む時間や室内遊びで過ごす時間を設ける。 ・子どもが体をしっかりと動かして遊ぶことができるように、戸外遊びの環境を整え、安全に配慮していく。 ・遊びに必要なものを、使いやすいところに出しておく。(制作コーナー・戸外で使う遊具・用具・運動会の再現遊びなど) ・運動会で使う曲のカセットテープや用具を身近に用意しておき、いつでも楽しめるようにする。 ・散歩道、葉や木の実の変化に気づき、子どもに知らせていくようにする。 ・散歩中の約束を伝え、事故やけがのないようにする。(2人組で手をつなぎ離さない) ・風・雲の動きなど、夏から秋に移る変化に気付いたりする機会を持つ。 ・木の実を分類して置いたり、季節感のある絵本や図鑑を用意したりして、秋の自然に興味を持ち触れるきっかけをつくる。 ・一人一人の作りたいものが実現できるように素材などを準備する。(ドングリ・木の葉・カラーポリ袋・和紙など)</p>	<p>・友達と一緒に遊ぶ中で、頑張ったり励まし合ったりする姿を大切に受けとめ、嬉しさややってみようとする気持ちなどが持てるようにする。 ・子どもと一緒に遊び、体を動かして遊ぶ心地良さを、保育者も共感する。 ・年長児の遊びに刺激されて、いろいろな遊びに気付いたり、模倣したり、教えてもらったりという姿を大事にしていく。 ・気の合う友達とイメージを共有して遊ぶ姿が見られるので、一人一人のイメージを大切に。また、友達同士の仲立ちも必要に応じてする。 ・散歩に出掛け、木の実や落ち葉をみつけ身近な自然が変わっていくことを感じられるようにする。 ・自然の変化に対する子どもの気付きや驚きや喜びを受けとめ、保育者の感じたことなども伝え共感していく。 ・園庭にある自然物の状態を保育者が把握しておき、それらを使った遊びをタイミングよく紹介したり遊びのきっかけを作ったりして、子どもが秋の自然にしっかりと触れて遊べるようにする。 ・保育者自身も変わりやすい秋の天気を敏感に感じ取り、空の様子や雲の形、気温や風などの気付いたことを子どもたちと話題にしていく。</p>
<p>食育 ・食事はできるだけ残さず、きれいに食べることを心がけ、食べ終わった食器をワゴンに戻す。 ・旬の食べ物や種類を教えよう。 ・よく噛んで食べることが健康に良いことを知る。</p>	<p>・子どもが食器の片付けをしやすい動線を確保する。 ・興味を持った作物がどのように育てられるか話を聞いたり図鑑で調べたりする。</p>	<p>・食べ物には、体を大きくしたり元気にしたりするためのいろいろな栄養が、たくさん含まれていることをわかりやすく知らせる。 ・栄養の絵本やシアターを用意し、食育に興味を持てるようにする。</p>
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>月の反省</p>	<p>自己評価</p>
<p>・運動会に向けて、子ども達が取り組んでいる様子をクラス便りや掲示、降園時の会話などで保護者に伝えるとともに、心身の疲れなどの体調管理に気を付けてもらうようにする。また、その子どもなりの頑張りや育ちを保護者に伝え、共に喜べるようにする。</p>		